

コロナ危機を乗り越え、新しい社会の展望を！ 「市民と野党の共闘」、総選挙で安倍退陣へ！



7/25 2020年革新・愛知の会世話会

革新・愛知の会世話会は7月25日、コロナ対策の下での開催となり18の地域革新懇、5の職場革新懇、青年ネット、消費者革新懇、11の賛同団体から45名が参加しました。開会のあいさつは服部守延愛商連会長、閉会あいさつは知崎広二愛労連議長がおこないました。座長は蛭原京子自治労連役員、中島信行緑平民懇事務室長。今年の世話会には、情勢にかみ合って、コロナ禍のもとで、人々に寄り添い、政治を変える活動が各地で展開されている生き生きとした発言が相次ぎました。(文責 編集委員会)

頑張れば政治は変えられる！要求を取り上げて前進へ

開会あいさつは代表世話人、服部守延愛商連会長。

「業者はさらに新型コロナで経営が成り立たなくなっている。民間に加入する業者がこれまでの2倍になった。国に給付金や助成金の拡充などを求め危機をのりこえようと連帯が広がっている。一人10万円給付の実現、検察庁法案撤回と世論と運動、国会での野党共闘の成果、声を上げれば政治は変えられる。革新懇40年をふまえ新たな飛躍を」と訴えました。

村上俊雄事務室長からの世話会への提案(世話人会提案は別紙)をうけて討論。生き生きとした発言が相次ぎました。

古川大曉民青同盟愛知

県委員会委員長は、大学前でのフードバンク支援活動(食料無料配布)を通じ「これが先進国なのかと身をもって実感」。多くの大学で学費下げの署名に学生が取り組んでおり「私たちの知らないところで運動が起こっている。青年は今の政治を変えたいと思っている。政治を変える展望がつかめれば投票行動につながる」と青年たちへの働きかけの大事さを強調しました。

**職場革新懇
職場の労働者を視野に活動始める**

今回の世話会にて特徴的だったのが、職場革新懇からの発言です。発言した4つの革新懇が職場の労働者を視野に活動をはじめている経験が語られました。

トヨタ系職場革新懇の

津田康弘名古屋市職労委員長は「行政改革」で職員が減らされ続け、名古屋区役所生活保護担当の職員が切り付けられた事件もこうした中でおこった。保健所削減を押しとどめ16行政区に残してきたが公務労働現場こそ充実させなければならない。「敬老バスと地域交通拡充で元気な名古屋をつくる会」を結成し来年の市長選挙に向けて大きな運動を展開すると発言、コロナ禍の中で、暮らし、雇用、医療を守るために奮闘が語られました。

酒井俊一さんは「世界の自動車産業は全自動・電化でトヨタは社長を先頭に変化を訴えている。今後多くの労働者がリストラへの不安の中、『大企業の社会的責任について考える』集いを市民にも呼びかけて開催した」とことを発言。

鉄鋼革新懇の菊池竹美

さんは、トヨタ系職場革新懇が学習会を開催したと聞いてトヨタがやるなら日鉄でも！と切り出し、「現場でモノを作る労働者が世の中を変える先頭にたたなければ」と話し合ってきたことに触れ、日鉄OB、大同、愛知製鋼など民間企業でつくる革新懇で秋に懇談会を予定、大企業のなかで職場革新懇を力強くすすめていきたいと発言しました。泉職革新懇の大山晴久さんは、独自のチラシを作成し、4月と7月に西三河合同庁舎前で門前宣伝を行い「受け取っても

らえる心配でしたが、3割が受け取ってくれた。」と。「国民のなかに大きな変化が生れている。」「現役の中の人たちに打って出よう」と今後はチームを作ってチラシ作成し。本庁前でもぜひやりたい、と発言しました。

地域から「市民と野党の共闘」を

金融革新懇の大野克良さんは、10年間の休会から再開し活動を始めたと言、銀行業界もマイナス金利で不況のしわ寄せをうけている。コロナ禍のなか、人減らし、支店閉鎖も考えられている。こうしたなかで、業者の人ともつながり、市民に役立つ銀行でなければいけない。

日本共産党国会議員の大門みきさんと国民民主党の大塚耕平さんをよんでのシンポジウムを予定していたがコロナで中止になってしまった。三菱UFJ銀行、

みずほなどは石炭火力には融資をしないことを決めている。この流れの中、9月に井内名城大学教授を講師に金融機関が果たす役割を考える企画を計画中。

地域からは南区革新の会、瑞穂区革新懇、緑平民懇、岡崎・革新の会、港革新懇、豊田革新懇が発言。

南区・革新の会中西八郎さんは、4区での市民と野党の共闘の前進について発言。

あいち市民アクション4区は、候補者が希望の党へ合流したなか、共産党の候補者を統一候補にして選挙をたたかったこと、その後困難な状況を切り開き、国民民主党も参加をしてこの間2回の共同街宣を行ったこと、250人からアンケートを

とり、政策の練り上げをすすめていることが報告されました。

瑞穂区革新懇の見崎徳弘さんは、4党の代表がそろって中村喜四郎さんが提起した投票率10%上げる運動の事務局次長を国民民主の牧さんが担っている。市民の共同のなかで候補者も変化し、私たちが行動すれば政治は動くと言いました。

緑平民懇の西村秀一さんは、革新懇総会に立憲民主党の近藤昭一さんが参加し、講師で参加した共産党の井上さとしさんと同年同月生れで親しいこと、院内での野党共闘が深まっている。街頭宣伝など地域から共闘をすすめる政策も練り上げて、3区の市議とも連携を深めていきたいと発言しました。

岡崎革新の会の福田秀俊さんは、総会に元衆議院議員の中根やす

ひろ氏が「差別、教育病など弱者の立場で頑張ってきた一人としてアベ政治を変えよう」とあいさつしたことを紹介。緊急署名、岡崎市長選挙へのたたかいを述べ、12区の闘いを地域から統一の動きをつくっていききたいと発言しました。

港区革新懇の石原幸さんは、コロナ禍で改めて生存権が問われている。9月に「憲法と生存権を考える」シンポジウムを計画している。

豊田革新懇の加藤尚夫さんは、2月の豊田市議補選で社民、緑の党が支持して、共産党が票を上回って議席を確保したこと。豊田で野党共闘が無縁の地ではないのかと革新懇がよびかけ、緑の党も参加して市民アクションを結成したこと。

国民民主党からは、「連合の関係で共闘はむづかしい」といわれて

いるが野党共闘を最後まで追求する。その核に革新懇がなる、と発言しました。

河村市長らの大村知事リコール運動反対

共産党名古屋市長議員田口一登さんは、大村知事リコール運動について、「表現の自由」への攻撃と侵略戦争を肯定する流れに反対して取り組むことの重要性を訴え、「河村たかし氏の国政選挙への野望と、減税、維新の会の勢力拡大の政治的野心を打ち砕こう」と発言しました。

9・19大集会成功を！

平和委員会の高橋信さんは、60年安保条約から60年の年ー9月19日は安保法成立から5年、県弁護士会が後援し「違憲の安保法制を廃止し立憲主義の回復を求めるあいち集会」が開催できることになっ

革新懇運動を深めるシンポジウムをぜひ成功させよう

代表世話人の田辺準也さんは、世話会での議論を通じ、革新懇の課題が明らかになりつつある。秋の開催予定の革新懇シンポジウム3つの共同目標をつかみなおす②エッセンシャルワークの意義

③野党共闘の前進と革新懇の意義をつかみ学ぼうと発言しました。討論のあと、愛労連

議長の高橋広二さんが「コロナ禍で労働組合の役割が問われ、注目されている。各分野の運動をさらに広げ、12月の総会には大いに奮闘したといえる総会閉会にしましょう」と挨拶しました。